

教育長日記 (平成25年4月2日)

青い空に浮かぶ白い雲25

—3本の矢—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 再び「動かなければ 欲しいものは得られない (真如昌美)」

平成25年度 学校教育経営方針3本の矢

はじめに

平成25年度も、教育委員会と学校とが強力なパートナーとして、互いに刺激し合いながら様々な取り組みを進め、東大和市の教育を高めていくことをお願いします。

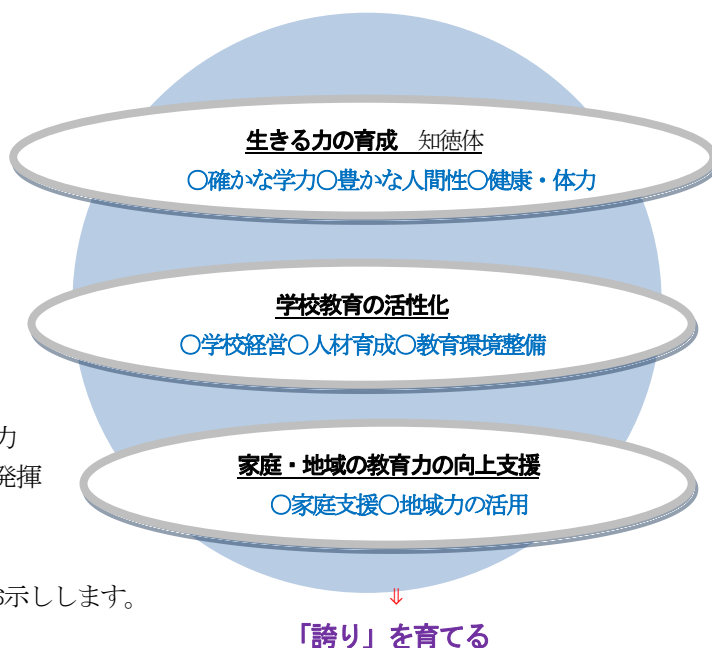
私たちに用意された時間は限られています。

校長にチャレンジ精神なくして学校は変わりません、成果も生まれません。

副校長には、校長の腹心として校長のやる気を後押しし、校長の経営方針の実現に寄与して下さい。

学校の職員は、校長の経営方針を理解し、児童生徒が毎日楽しく学校に通えるように、学習指導力や生活指導力進路指導力をさらに磨き学校運営・組織貢献力を存分に発揮して下さい。

次に、「平成25年度学校教育経営方針3本の矢」をお示しします。



一本目は、「生きる力の育成」

児童生徒の知・徳・体をバランス良く育てて下さい。

今、音楽、美術、英語をはじめ他教科においても、知・徳・体それぞれに成果の芽は出ています。児童生徒の伸びや努力について時機を失することなく認め励まして下さい。

二本目は、「学校教育の活性化」

校長は、学校経営方針を具体的に職員、保護者、地域に示しそれを周知・徹底してください。

校長は、どんな教育を進めようとしているのかを常に発信し、職員の取り組みの様子を時機を失することなく適切に評価・指導することで、職員の仕事に対する意欲はさらに引き出されます。強い組織がそこから生まれます。

あわせて、若手教員が増加しています。市長が提唱する「明るい挨拶」のできる学校組織をつくってください。

三本目は、「家庭・地域の教育力の向上支援」

学校と家庭や地域の協力で、ほとんどの児童生徒が朝食を食べて登校するようになり、不登校児童生徒も激減しました。

今、東大和市民の願いは、児童生徒の学力向上です。しかし、この課題も学校教育だけではなしえないものであり、家庭や地域の教育力が求められます。家庭の教育力がどうあればよいのか家庭や地域の教育力を支援して下さい。

一方、保護者や地域の教育力を活用するなど、一歩踏み込んだ積極的な人材資源の活用にチャレンジしてください。

結びに

児童生徒が自分や家族、学校等に「誇り」をもって生活する姿をみなさんと共に目指していきましょう。